

## ふるさと今昔講座 ～第8回講座～

ふるさと今昔講座を3月8日(火)東城自治振興センターにおいて、高柴順紀先生から、「襖下張りから発見された帝釈富くじ資料」と題して講演をいただきました。

帝釈富くじ資料は、東城町森の故松崎公氏宅解体時に、親戚の松崎守登さんが襖の下張りから発見されたものです。現在発見された資料は、広島県立文書館に寄託されています。その資料について説明していただきました。

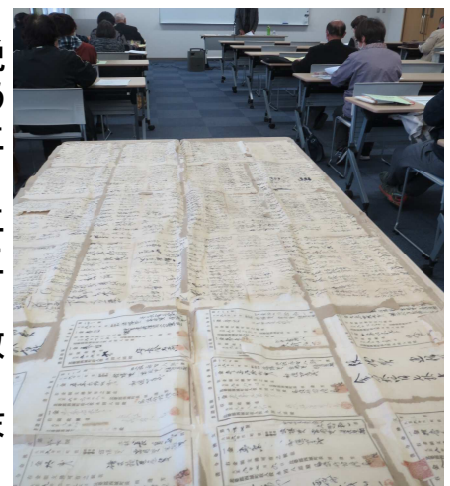
帝釈の富くじは、江戸時代に帝釈の古刹永明寺で行われたものです。広島藩では禁止令は出していたものの収益の一部が藩に入るため、公営富くじ的な存在として黙認していたようです。県内では、帝釈の他に三次・尾道・宮島・御手洗で行われていました。ただ、帝釈の富くじは、古文書や地域の伝承から、藩営で富くじとしていたのではないかと考えられることを説明されました。

講座では、江戸時代の富くじのやり方や興行の流れについて説明していただきました。ちなみに富くじ券5万枚を1セットとし、このうち3百枚が当たりくじとなっていたとのこと。帝釈での富くじについて、具体的な資料に基づいて研修することができました。

昔、みんなの楽しみの一つであったようです。しかしながら、時には富くじで赤字も出たようで、東城町史でも掲載されているとのこと。

三次奉行であった頼杏坪の富くじへの考えを紹介されるなど、数少ない資料をまとめられ、講演いただきました。

今回は、22名の受講生でした。地域の歴史が、また一つはっきりしました。皆さんとても熱心に受講されました。(夕)



## 自治会通信 ～上町自治会～

上町自治会 手芸教室にて作成された傘福のご紹介です。完成した作品は三楽荘に展示されています。



| 行事名                                  | とき                 | 4月からの行事内容  |
|--------------------------------------|--------------------|--|
| <b>ふるさと今昔講座</b><br>(講座は会員以外でも受講できます) | 4月12日(火)<br>13:30~ | ・第1回講座 郷土の自然と歴史と文化<br>座学「久代氏と久代宮氏」<br>講師 近藤 芳弘さん・高木 保さん<br>会場 東城自治振興センター<br><br><b>令和4年度 ふるさと今昔講座生を募集します</b><br>対象:東城町内にお住まいの方<br>年会費:3,000円<br>申込用紙は東城自治振興センターにあります |
| <b>ウーマンカレッジ</b>                      |                    | <b>令和4年度 ウーマンカレッジ受講生を募集します</b><br>対象:東城地区在住の女性<br>年会費:3,000円<br>申込用紙は東城自治振興センターにあります   |
| <b>しごんぼ隊</b>                         |                    | <b>令和4年度 しごんぼ隊員を募集します</b><br>年会費:1,000円 対象:東城小学校児童<br>申込用紙は東城小学校にて配布いたします  |



# 感染症対策

へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

## ①手洗い

### 正しい手の洗い方

手洗いの前に 爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪を外しておきましょう

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのばすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

## ②咳エチケット

### 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやるう



マスクを着用する (口・鼻を覆う) ティッシュ・ハンカチで 口・鼻を覆う 袖で口・鼻を覆う

何もせずに咳やくしゃみをする

### 正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う 2 ゴムひもを耳にかける 3 隙間がないよう鼻まで覆う

咳やくしゃみを手でおさえる



■ 詳しい情報はこちら

厚労省 検索

